

「北総線の運賃値下げを実現する会」の活動について

1. 「北総線の運賃値下げを実現する会」とは

北総線は、開通当初と比較し、都心に直接つながり、本数も多くなり、スピードも改善され、千葉ニュータウン沿線住民として唯一有力な鉄道としてかけがいのない存在となりました。しかしながら同鉄道の運賃は他の鉄道と比較して、概ね2.5倍の高さにあり、特に、通学定期に至っては4倍の高さにあります。

運賃の高さ故に、就職・雇用機会の逸失、子どもたちの通学費の過重な負担など、住民家計は大きく圧迫され、外出機会の減退など日々の生活に多大な影響を及ぼしています。また、ニュータウンへの新規入居を阻む大きな要因になっています。

北総開発鉄道（現北総鉄道）は、景気後退の激しかった平成7年・10年に10%もの運賃値上げを行いました。これに耐えかね、北総・公団線の高運賃の是正を目的に、平成11年10月に誕生した市民活動団体が「北総・公団鉄道運賃値下げを実現する会」です。今年7月に公団線の売却によって路線名が「北総線」となったことに伴い、当会も名称変更をしました。略称で「北実会（ほくじつかい）」です。

2. 「北実会」がこれまでに取り組んできたこと

① 64,000名の署名を携えて陳情活動

平成11年10月から3ヶ月間にわたって署名活動を行い、印西市17,446名、白井市41,163名、本埜村5,303名の計63,912名の署名を集めました。その署名を携えて都市基盤整備公団総裁に陳情を行い、また、平成12年4月には、沿線の4市村長、議会議長とともに運輸省、建設省を訪れ、署名簿を添えて陳情しました。

② 県知事選立候補者に公開質問状

平成12年3月の県知事選挙に向け、立候補予定者に北総線の運賃問題について問う公開質問を行い、回答を有権者に配布しました。

③ 債務の金利を情報公開

平成13年、北総開発鉄道（株）が日本鉄道建設公団（現 鉄道建設機構）に支払っている債務の金利内訳を初めて当会が情報入手しました。そして要望していた財投資金の借り換えが進んでいることを確認しました。

④ 北総鉄道、千葉県に「通学定期割引率引き上げ」を要望

家計に多大な影響を及ぼす「通学定期代引き下げ」を、会として最優先に取り組むべき課題と考え、平成13年6月、通学定期の割引率60%を80%に引き上げてほしいとする要望書を北総開発鉄道（株）に提出しました。また、同年8月には北総開発鉄道（株）の大株主である千葉県にも同様の要望書を提出しました。

また、堂本知事に運賃問題解決を要請する手紙を出そうと呼びかけるチラシを配布し、同年12月には、あらためて「通学定期割引率引き上げの早期実施を求める要望書」を知事宛に提出しました。

⑤ 沿線4市村に国への意見書提出の請願

平成14年3月から9月にかけて、白井・印西市議会、印旛・本埜村議会に「通学定期割引率引き上げ」と「運賃の適正化」を要望する国への意見書提出を請願し、各議会で採択され、関係機関に意見書が送付されました。

⑥ 「北総開発鉄道社長にハガキを送ってください」作戦を展開

平成15年5月に、北総鉄道社長宛てと当会会長宛ての二通の切り取り式ハガキを印刷したチラシを新聞折込し、利用者が直接運賃引き下げを訴えようという運動を展開しました。切手代は投函してくださった方が負担しなくてはならなかったにもかかわらず、915通もの利用者の生の声が寄せられました。それらの貴重な声については、当会のホームページに掲載すると共に、関係各所に送付し、更に沿線各駅周辺に大型看板を設置して報告を行いました。

利用者の「生の声」を携え、北総開発鉄道（株）亀甲社長に面談を申し入れ、社長は初めて『運賃は高い』と認めました。社長宛にも当会に寄せられた以上の数のハガキが届いており、利用者の切実な思いを直に伝えることができました。

⑦ 沿線4市村に通学定期補助についての申し入れ

印西市・白井市が通学定期割引率引き上げのために、会社に対し補助金支出の構想が発表されたことに対し、平成16年9月、沿線4市村の連携と、割引率を80%に引き上げることを会社に対し要請してほしいと申し入れました。

この他にも、千葉県議会に訴え、5党・会派が代表質問や一般質問で高運賃問題を取り上げ、知事から会社への要請文提出を取り付けたこと、地元国会議員を介して国土交通省への陳情や質問主意書提出を行ったこと、歴代運輸大臣・国土交通大臣への要望書を提出したことなど機会を捉えて積極的に活動を続けています。

3. 運賃値下げへ向けた今後の取り組み

北総鉄道（株）の平成15年度の経常利益率は35%、純利益は18億円を超えました。今後は累積債務がある故に猶予されていた法人所得税の課税がされます。

北総鉄道（株）の経営が利益体質になってきていること、昨今の地元自治体の通学定期割引率引き上げを求める積極的な対応などから、通学定期については運賃値下げの時期は近いと考えています。

今後、成田新高速鉄道開通に向けて様々な協議が行われると思われれます。私たち北実会は、その通過点に住む北総線利用者として、開通時には確実に運賃是正がおこなわれる様活動していきます。皆様にもチラシ等で情報をお知らせしていきます。

ご協力の程、どうぞよろしくお願ひいたします。